年間授業計画 様式例

高等学校 令和8年度（3学年用） 教科 国語 科目 現代文演習

教 科： 国語　　科 目： 現代文演習　　単位数： 2 単位

対象学年組：第 3 学年 1 組～ 8 組

教科担当者： （１組～８組： ）

使用教科書：（ 現代文読解 基礎ドリル 三訂版〈高校特別限定版〉（駿台文庫）
大学入試トライアル 私大対策 論理20（いいずな書店） ）

教科 国語 の目標：

【知識及び技能】 生涯にわたる社会生活に必要な国語について，その特質を理解し適切に使うことができる。

【思考力、判断力、表現力等】 他者との関わりの中で伝え合う力を高め，思考力や想像力を伸ばす。

【学びに向かう力、人間性等】 言葉のもつ価値への認識を深め，言語感覚を磨き，我が国の言語文化を尊重してその能力の向上を図る態度を養う。

科目 現代文演習 の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
社会生活において必要とされる語彙などの知識及びそれを適切に使用するための技能を身に付ける。	様々な形式の文章を読み、筆者の主張や問題に対して適切に解答することを通して、思考力や想像力を伸ばす。	文章を読む中で、自身の考えを形成したり、生み出したりする態度を養う。また、感じたこと、考えたことを言葉にして、心を豊かにする。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	領域 話・聞	領域 書	領域 読	評価規準	知	思	態	配当時数
1学期	A 単元 「論と例①」 【知識及び技能】 文章全体の展開を的確にとらえさせる。 【思考力、判断力、表現力等】 筆者の主張とそれを補強する具体例を認識し、それぞれが文章の中でどのような働きをしているのか考えさせる。 【学びに向かう力、人間性等】 内容に関して、自身の考えを持つ	・筆者が主張している「論」、またそれを補強する「例」という構造を理解させる。 ・「論」と「例」のそれぞれが、文章中でどのような役割を果たしているかをとらえる。	○		○	・文や文章の構造を的確に理解している。 ・内容や構成、論理の展開をふまえながら要旨を把握している。 ・進んで筆者の主張とその根拠や論拠をとらえようしている。 ・教材の内容に関心を持ち、これからの学習に見通しをもって取り組んでいる。読書に親しみをもっている。	○	○	○	11
	B 単元 「対比①」 【知識及び技能】 文章の中で対比して記述されている要素を的確に捉える 【思考力、判断力、表現力等】 対比されている各要素について、それぞれが文章の中でどのように扱われているかを捉える。 【学びに向かう力、人間性等】 内容に関して、自身の考えをもつ。	・文章の中で対比されて述べられている要素が何であるのかを理解させる。 ・文章中で対比されている各要素がどのように述べられているのかを踏まえて、論理の展開をつかむ。	○		○	・文や文章全体の流れを踏まえて、筆者の主張を的確にとらえることができている。 ・内容や構成、論理の展開をふまえながら要旨を把握している。 ・学習課題に沿って、具体例の役割に注目しつつ、粘り強く筆者の主張をとらえようとしている。	○	○	○	10
	定期考査						○	○		1
	C 単元 「リニア①」「論と例②」 【知識及び技能】 文章の構成の仕方について理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 文章の構成に合わせた読み方ができるようになる。 【学びに向かう力、人間性等】 文章の内容に対して、自分の考えを形成し、言葉で表現することができるようになる。	・筆者の主張である「論」と、提示された「例」の関係をふまえながら的確に要旨をとらえる。 ・文章の前後関係に着目して、文章の内容をとらえる。 ・授業の内容を自身の今後の学習にいかそうとしている。	○	○	○	・「論と例①」をふまえて、学習事項をいかして本単元に臨んでいる。また、「論と例①」をふまえて文章全体の構成や内容を的確にとらえている。 ・文章で述べられている主張や事実の前後関係に着目し、筆者の主張を的確にとらえることができている。	○	○	○	11
	D 単元 「対比②」「推論・統合」 【知識及び技能】 具体と抽象に着目し、筆者の主張を理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 具体と抽象を正確に認識し、そのそれぞれが、筆者の主張をどのように補強しているかを理解する。 【学びに向かう力、人間性等】 筆者の主張している内容を理解し、それに対して自身の考えを形成する。	・文章を構成している「具体」と「抽象」について、正確に認識しながら読む。 ・抽象的な内容での対比やそこから展開されていく文章の内容を的確にとらえる。 ・授業や学習での学びを問題を解くことにいかそうとしている。	○	○	○	・「対比①」をふまえて、「対比②」の文章を読み、「対比①」で学習したことを活用している。 ・文章を構成している内容について、「具体」の部分はどこか、「抽象」の部分はどこかということを的確にとらえることができている。 ・「具体」と「抽象」が筆者の主張をどのように補強しているのかを考えることができている。	○	○	○	10
	定期考査						○	○		1
2学期	D 単元 「論と例③」「対比③」 【知識及び技能】 文章の構成に対してどのように内容を捉えればよいかを理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 文章の書き方・構成をふまえた読み方ができるようになる。 【学びに向かう力、人間性等】 授業での学習事項を今後の自身の学習にいかそうとしている。	・筆者の主張を支える「例」と、根幹となる「論」を的確にとらえる。 ・高度な内容の文章を理解する。 ・対比になっているのは何と何なのかに注意しながら読む。	○		○	・「論と例①」と「論と例②」をふまえて文章を読むことができている。 ・高度な内容の文章を的確に理解し、また、難易度の高い問題を解くことができている。 ・複雑な文章の中で何と何が対比の関係で記述されていて、その結果述べられている筆者の主張は何であるのかということを的確にとらえることができている。 ・高度な文章を読みながら、自身の今後の学習にそれをいかそうとしている。		1		11
	定期考査						○	○	○	1
	D 単元 「一体性・類似性」「象徴性」 【知識及び技能】 一体性・類似性について理解しながら文章を読む。 【思考力、判断力、表現力等】 文章の中で共通点や相違点を考えながら読む。 【学びに向かう力、人間性等】 授業での学びを今後の自分の学習にいかそうとしている。	・文章の中で、それぞれの要素がもつ共通点や相違点を考えながら読み、最終的な筆者の主張や考えをとらえる。 ・抽象的な概念としての「象徴」を利用して文章を読む。 ・自身がとらえた文章の内容について、自分の言葉でまとめる。	○	○	○	・文章の中で共通点や類似性をもつものとして挙げられている要素を理解し、それが筆者の主張にどのように関わっているかを理解している。 ・文章の中で、何かの「象徴」として描かれているものをとらえ、文章全体の読解に役立て入ることができている。 ・文章全体を読み、要旨を自分の言葉で端的にまとめることができている。	○	○	○	13
	定期考査									1
										合計 70